

令和 7 年度決算にかかる 外部評価結果報告書

亀山市行政評価外部評価委員会

令和 7 年度執行の事務事業に関する外部評価結果.....	1
【令和 8 年度外部評価の概要】	1
【総括評価】	1
【今後の評価システムについて】	2
【個別事業評価】	2
【決算概要】	2
対象事業個別シート.....	5
25001：水道施設専用通信デジタル化事業.....	6
22020：舗装老朽化対策事業.....	7
22037：多面的機能発揮促進事業.....	8
22040：伝統的建造物群保存修理修景事業.....	9
23003：高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業.....	10
22055：障害者総合相談支援センター事業.....	11
22070：観光協会運営支援事業	12
22078：学校図書館支援事業.....	13
22088：保育所等 I C T 化推進事業.....	14
22091：放課後児童クラブ事業	15

令和 7 年度執行の事務事業に関する外部評価結果

【令和 8 年度外部評価の概要】

亀山市では、平成 19 年の第 1 次総合計画の策定を契機に行政評価システムを導入し、その後、基本計画期間ごとに検証を行いながら、評価システムの見直しが行われてきました。

こうした中、今回の外部評価は、第 2 次総合計画後期基本計画の策定に合わせて改訂した現行の行政評価システムにより、第 2 次総合計画後期基本計画実施計画の最終年度となる令和 7 年度の主要事業を対象に、各事務事業の評価内容の妥当性について外部評価を実施しました。また、外部評価を行う事業については、大綱ごとの事業数の割合を踏まえたうえで 10 事業を選定し評価を実施しました。

【総括評価】

外部評価の結果としては、事業の成果や今後の展開に関する評価の妥当性を確認することで、事業の上位施策への寄与度や目的に対する成果などを効果的に評価できたものと考えます。

これまでの経験で培われてきた行政評価システムは、着実に機能していると認められますが、その一方で、より高次の目標への貢献の視点から事業を評価することが求められます。評価の視点が、目指している目標に対してどの程度寄与しているのか不明瞭な事業もあり、事業の指標、成果等の項目からのみで評価している事業、成果の分析が不十分である事業が散見されました。こうした事業においては、事務事業内での評価に留まらず、その事業が誰のための事業で何のために取り組むのかといった視点に立ち、上位の目的にどのように貢献しているのかの本質的な目的を意識しながら、事業運営に取り組んでいただきたいと思います。

ます。また、評価対象外の事業についても同様に、施策の方向に照らし合わせた事業に取り組んでいただくことを期待します。

【今後の評価システムについて】

亀山市の評価システムは、導入当初から先進的な取り組みとして注目されてきました。より実効性の高いものとするために、これまでの課題を踏まえ、改定を経ながら、今日まで現行の評価システムが適正に運用され、一定の効果があると認められます。

本年度から第3次総合計画前期基本計画が開始となり、評価結果を総合計画の推進に生かしていくことが非常に重要となります。

今回の外部評価からは、事務事業評価の最終評価者のみで完結するのではなく、総合計画に位置付けられた基本施策単位での施策評価の評価者と共有されるような仕組みづくりを構築されることが必要であると考えます。また、事務事業評価にあたっては、施策評価と連動した評価を意識するとともに、事業の成果、課題の分析を十分に行い、より充実した事業が展開されることを期待します。

【個別事業評価】

今回、対象となった事業に対する総括意見及び評価結果については、5頁以降の対象事業個別シートのとおりです。

【決算概要】

令和7年度一般会計決算については、第2次総合計画後期基本計画の最終年度として、都市レジリエンス*1の強化に向けた新たな防災情報伝達システムや津市及び鈴鹿市と共同運用する消防指令センターの整備、また令和8年4月からの実施に向けた中学校全員喫食制給食の受入れ環境整備など、事業を着実に推進されたところです。

*1 都市が自然災害・気候変動等の困難なストレスに直面した際の回復力や適応力を示します。

同時に、エネルギー価格や物価の高騰、人件費の増加等が財政を圧迫する局面において、「財政構造改革骨太方針２０２４」に基づき、歳出削減と歳入確保に取り組まれた結果、市税や地方交付税の増収等も相まって、経常収支比率が８２．８％へと大幅に好転しました。さらに、実質単年度収支が平成２５年度以来１２年ぶりに黒字へ転換し、財政調整基金残高も増加するなど、財政構造改革の一定の成果が得られたものと評価します。

しかしながら、中期的な財政見通しを勘案すると、今後も物価高騰や人件費の増加に加え、相次ぐ自然災害への備えや今後控える大規模公共施設の整備など、財政を圧迫する要因には引き続き警戒が必要です。また、財政調整基金残高が増加に転じたとはいえ、令和１１年度末の目標額である２５億円の達成に向けては、更なる財政基盤の強化が不可欠です。

これらの状況を踏まえ、単年度の好転に安住することなく、今後においても事務事業の見直しや再編、更なる歳入確保に向けた取組など、財政構造の本質的な改革に危機感を持って継続的に取り組み、財政状況の早期回復と持続可能な財政構造への転換を図る必要があります。なお、事業の見直しに際しては、単なる予算削減に陥ることなく、事業ごとの予算配分のメリハリや優先順位を見極めた上で、市民生活への影響に十分配慮しつつ進めるとともに、改革の成果を効果的な市民サービスへとつなげていくよう努めてください。

以上、当委員会として評価結果をまとめましたが、本年度からスタートした第３次総合計画の事業推進においては、将来の財政状況を厳しく見通した事業の進捗管理を行い、健全な財政基盤の確立に向けた厳格な予算執行により、市民の期待に応えられる持続可能な行財政運営に努められるよう要望します。

令和８年７月８日

亀山市長 櫻井 義之 様

亀山市行政評価外部評価委員会
委員長 村林 守

対象事業個別シート

■施策の体系

施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上
基本施策	03：上下水道の充実
施策の方向	01：安全でおいしい水の安定供給

■対象事業

事業名	所管部署
25001：水道施設専用通信デジタル化事業	上下水道部 上水道課 上水道工務G

■外部評価委員会委員評価

評価項目	妥当性の評価	評価に関する意見
活動実績	適切 見直し	全体計画の中でどの程度の進捗であるのかを記載されるとよい。
成果	適切 見直し	進捗率 75%でB評価としているが、NTT 側の進捗の影響により、全体の進捗が遅れているため、実質的にA評価である。
課題	適切 見直し	
事業展開	適切 見直し	
総括意見	費用面に関して、アナログ回線を使用した場合を積算し、比較している点は評価できる。	

■施策の体系

施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上
基本施策	04：道路の保全・整備
施策の方向	04：道路の適切な維持管理

■対象事業

事業名	所管部署
22020：舗装老朽化対策事業	建設部 建設管理課 道路保全G

■外部評価委員会委員評価

評価項目	妥当性の評価	評価に関する意見
活動実績	適切 見直し	
成果	適切 見直し	
課題	適切 見直し	
事業展開	適切 見直し	
総括意見	財源確保に努められ、計画的に進められたい。	

■施策の体系

施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上
基本施策	09：自然との共生
施策の方向	02：森林・里山・農地の保全

■対象事業

事業名	所管部署
22037：多面的機能発揮促進事業	産業環境部 農林振興課 農林政策G

■外部評価委員会委員評価

評価項目	妥当性の評価	評価に関する意見
活動実績	適切 見直し	事業の枠組みの中での活動としては適切であるが、改善の余地はある。
成果	適切 見直し	厳しい状況の中で事業を維持しているという意味では評価できる。
課題	適切 見直し	農業者以外へと取り組みを広げる必要がある。
事業展開	適切 見直し	地域まちづくり協議会等にも呼びかけて、取組団体を増やしていただきたい。
総括意見	耕作放棄地の拡大を防ぎ、良好な農村環境を維持するためには、大変重要な施策だと思われるので、今後はそのような視点を加味して取り組んでいただきたい。 計画値を踏まえた中では、まずまずの成果であるが、新しい取り組みに期待したい。	

■施策の体系

施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上
基本施策	10：歴史文化を生かしたまちづくりの推進
施策の方向	02：関宿重要伝統的建造物群保存地区の保護の推進

■対象事業

事業名	所管部署
22040：伝統的建造物群保存修理修景事業	市民文化部 文化課 まちなみ文化財G

■外部評価委員会委員評価

評価項目	妥当性の評価	評価に関する意見
活動実績	適切 見直し	
成果	適切 見直し	
課題	適切 見直し	
事業展開	適切 見直し	
総括意見	関宿のまちなみが良好に維持されていると認められる。	

■施策の体系

施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実
基本施策	03：高齢者の地域生活支援の充実
施策の方向	02：介護予防の推進

■対象事業

事業名	所管部署
23003：高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業	健康福祉部 健康推進課 地域包括連携G

■外部評価委員会委員評価

評価項目	妥当性の評価	評価に関する意見
活動実績	適切 見直し	
成果	適切 見直し	
課題	適切 見直し	
事業展開	適切 見直し	
総括意見	取り組みが成果をあげていると認める。 鈴鹿亀山地区広域連合の委託事業という制約はあるが、亀山市の健康課題全般を見ると、多面的な視点から成果を把握されることが望ましい。	

■施策の体系

施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実
基本施策	04：障がい者の自立と社会参加の促進
施策の方向	01：障がい者の自立支援

■対象事業

事業名	所管部署
22055：障害者総合相談支援センター事業	健康福祉部 地域福祉課 障がい者支援G

■外部評価委員会委員評価

評価項目	妥当性の評価	評価に関する意見
活動実績	☐ 適切 見直し	
成果	☐ 適切 見直し	相談体制は大きく改善されたが、求められる成果の水準を見極めたいという理由でB評価とされている。
課題	☐ 適切 見直し	
事業展開	☐ 適切 見直し	
総括意見	令和7年度から相談体制が見直され、相談件数の把握や連携体制は大きく向上したと認められる。	

■施策の体系

施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上
基本施策	04:まちづくり観光の活性化
施策の方向	03:まちづくり観光を支える人材と組織の育成・確保

■対象事業

事業名	所管部署
22070:観光協会運営支援事業	産業環境部 商工観光課 観光・地域ブランドG

■外部評価委員会委員評価

評価項目	妥当性の評価	評価に関する意見
活動実績	☐ 適切 見直し	
成果	☐ 適切 ☐ 見直し	確たる成果は確認できなかったため、A評価とした根拠が不十分である。
課題	☐ 適切 見直し	
事業展開	☐ 適切 見直し	
総括意見	亀山市と観光協会との連携が不十分ではないかと思われる。	

■施策の体系

施策の大綱	04:子育てと子どもの成長を支える環境の充実
基本施策	01:子どもたちの豊かな学びと成長を支える環境の充実
施策の方向	03:希望をもって新しい時代に活躍できる子どもの育成

■対象事業

事業名	所管部署
22078:学校図書館支援事業	教育委員会事務局 教育推進課 支援推進G

■外部評価委員会委員評価

評価項目	妥当性の評価	評価に関する意見
活動実績	適切 見直し	
成果	適切 見直し	貸出冊数を指標としているためにB評価とされているが、読書の質を評価する方法を考えられるとよい。
課題	適切 見直し	
事業展開	適切 見直し	
総括意見	高い水準の成果を挙げていると認められる。	

■施策の体系

施策の大綱	04:子育てと子どもの成長を支える環境の充実
基本施策	02:安心して子どもを産み育てられる環境づくりの推進
施策の方向	01:就学前教育・保育施設の受入機能の強化

■対象事業

事業名	所管部署
22088:保育所等ICT化推進事業	子ども未来部 子ども政策課 保育サポートG

■外部評価委員会委員評価

評価項目	妥当性の評価	評価に関する意見
活動実績	適切 見直し	
成果	適切 見直し	
課題	適切 見直し	
事業展開	適切 見直し	
総括意見	導入したシステムを有効に活用されたい。	

■施策の体系

施策の大綱	04:子育てと子どもの成長を支える環境の充実
基本施策	02:安心して子どもを産み育てられる環境づくりの推進
施策の方向	06:子どもの居場所づくりときめ細かな子育て支援の推進

■対象事業

事業名	所管部署
22091:放課後児童クラブ事業	子ども未来部 子ども政策課 子ども総務G

■外部評価委員会委員評価

評価項目	妥当性の評価	評価に関する意見
活動実績	適切 見直し	
成果	適切 見直し	
課題	適切 見直し	
事業展開	適切 見直し	
総括意見	難しい課題はあると思われるが、運用の柔軟さで学童保育の必要性に役立っていることは評価できる。	